

2-01. 外観イメージ



商業施設側からの鳥瞰イメージ

※基本構想段階のイメージです。基本・実施設計における検討によってイメージは今後変わることがあります。

2-01. 外観イメージ



嬉野温泉駅出入口付近から建物を望む

※基本構想段階のイメージです。基本・実施設計における検討によってイメージは今後変わることがあります。

2-01. 外観イメージ



商業施設側から建物を望む

※基本構想段階のイメージです。基本・実施設計における検討によってイメージは今後変わることがあります。



エントランス・受付カウンター付近から多目的スペースを望む

※基本構想段階のイメージです。基本・実施設計における検討によってイメージは今後変わることがあります。



商業施設側の入り口付近から多目的スペースを望む

※基本構想段階のイメージです。基本・実施設計における検討によってイメージは今後変わることがあります。

2-03. 外装仕様

- ・嬉野の地に根付き自然と調和する施設を目指すため、塗装などによる着色ではなく素材そのものが持っている「色」を可能な限り採用し、合わせて素材の「質感」を生かすことで経年劣化ではなく年月により「味」が深まる外観計画を目指します。
- ・駅舎に合わせた勾配屋根と屋根材による計画とし、軒先ラインも水平ラインを強調した形状とすることで駅舎との一体感を持たせた外観計画とします。
- ・外部のみどりを取り込み、内部の活動状況を見ることが出来る、内外と一体となる大きなガラス面を設置します。



特徴的な曲面の大屋根



深い庇による快適な軒下空間



水平ラインを強調した軒先



駅舎・周辺施設と合わせた勾配屋根と色彩



自然を感じる素材感のある外壁



内外が一体となる大きなガラス面



洗練された列柱とルーバーによる和の構成



緑に包まれた建物配置

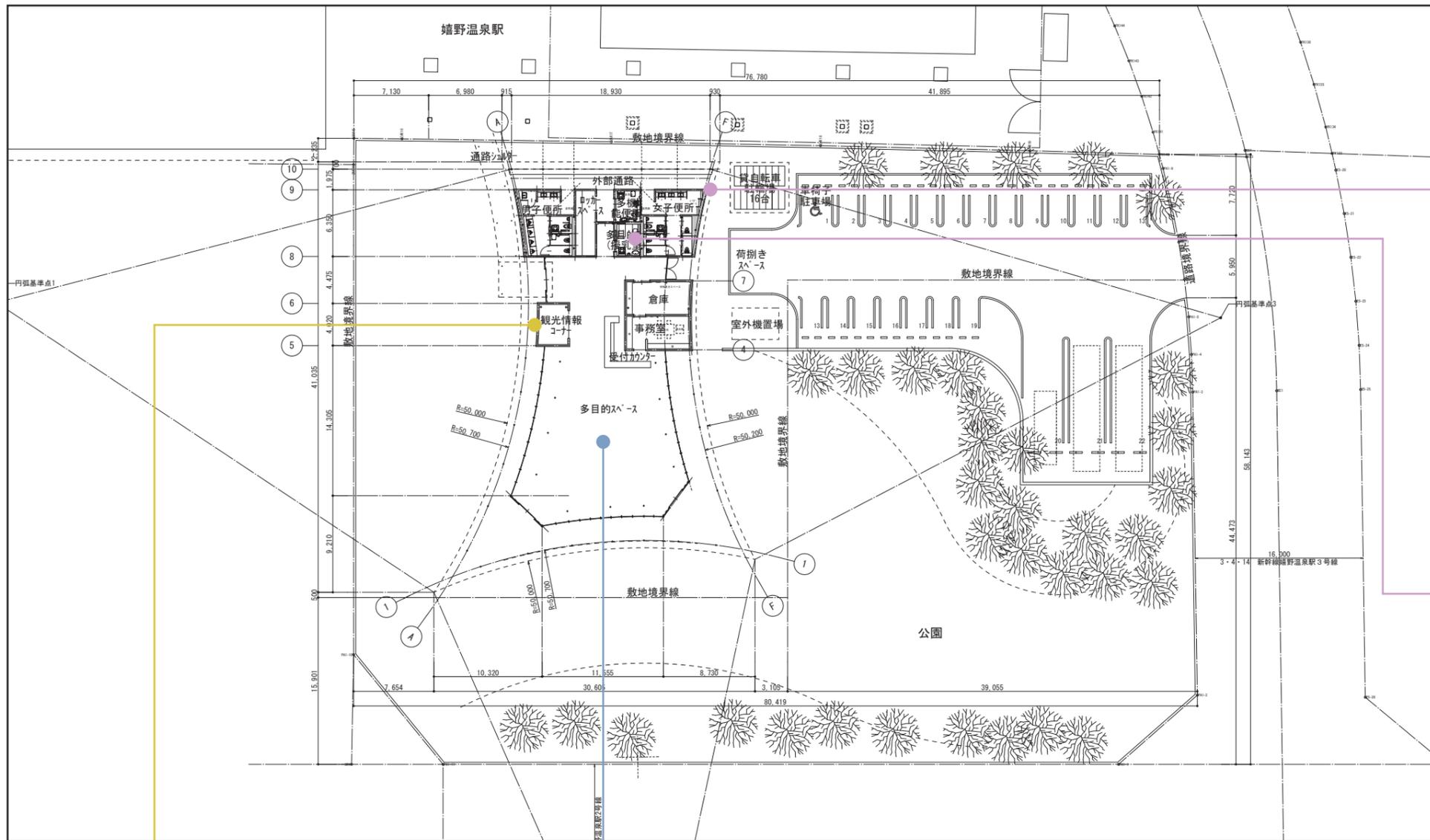


駅広と合わせた外構仕上材



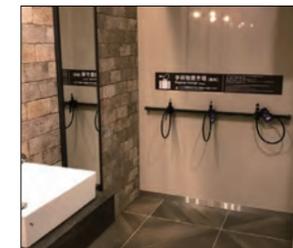
2-04. 計画諸元、平面レイアウトの考え方

- ・施設諸室は、事務スペース、多目的スペースに公衆便所のシンプルな構成で計画。
- ・事務スペースには観光案内や荷物受け取りなど窓口対応のための長めのカウンターを設け、荷物の一時預かりにも利用する倉庫を併設します。
- ・メインの諸室である多目的スペースは一つの大きな空間とし、柵や椅子などの移動により多用途の利用形態にフレキシブルな対応ができる計画とします。
- ・公衆便所は24時間利用に対応するため屋外からの出入りをメインとし、屋内からは専用通路で接続させ利用時間外は施錠する計画とします。



公衆便所

- ・ユニバーサル基準での計画を行います。
- ・観光客を前提とし、広めの通路、広めのブースとし、女子便所にはパウダーコーナー、男子便所には荷物置きスペースを設けます。
- ・男女便所内に簡易多機能対応ブースを設置し多機能便所の利用者分散を行います。



荷物置きスペース



パウダーコーナー

多目的室

- ・授乳やミルク作りが出来る多目的室を設置します。子育て世代に利用しやすい施設を目指します。



哺乳専用浄水給湯器

観光情報コーナー

- ・多目的スペースの一角に観光情報展示の専用ブースを設置します。企画展示やポスター展示スペースとして利用します。



多目的スペース

- ・駅広側へは待合スペース、公園側へは公園を眺めながらリラックスできるスペースを設け、どちらもサッシを開放することで屋外と一体利用できる計画とします。



駐車場

- ・駐車場側に盛土と樹木により見えにくい計画とします。

